

## 組立・施工説明書

# アーバンルーフ ジャンボタイプ

### 《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。  
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

# はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「アーバンルーフ ジャンボタイプ」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。  
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

## 本書内の表記

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。  
内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

## 警告／注意／お願い

表記	意味
 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
<b>お願い</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

## その他の表記

表記	意味
 <b>改訂</b>	商品や作業に変更があったことを示しています。 必ず変更点を確認のうえ、作業を行ってください。
 <b>ご注意</b>	作業上の注意していただきたい内容を示しています。
 <b>Check</b>	確認していただきたい内容を示しています。
 <b>ポイント</b>	商品の組み立て・施工を行う際の作業のポイントを示しています。
 <b>電気工事</b>	電気工事士の資格を有する方が行う作業を示しています。
 <b>電動ドライバー禁止</b>	電動ドライバーを使用してはいけないことを示しています。
 <b>シーリング材</b>	必ずシーリングを行っていただきたい箇所を示しています。

# もくじ

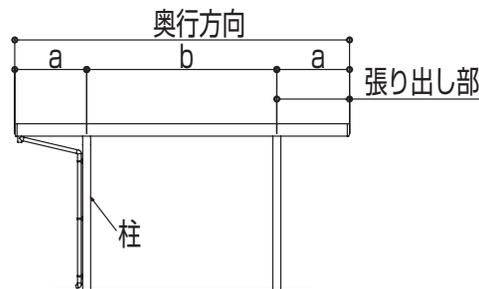
---

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
<b>作業前の確認</b>	<b>P.4</b>
同梱一覧	P.4
全体構成図	P.7
施工の流れ	P.7
<b>基礎工事の準備</b>	<b>P.8</b>
柱の墨出し	P.8
基礎の掘削	P.8
<b>柱の施工</b>	<b>P.10</b>
柱の切断	P.10
柱の建込み・仮固定	P.10
<b>本体フレームの施工</b>	<b>P.11</b>
梁の連結	P.11
梁カバーの取り付け	P.12
梁の取り付け	P.14
側枠の取り付け	P.16
垂木の取り付け	P.18
寸法確認・調整	P.20
前枠・後枠の取り付け	P.21
母屋の取り付け	P.26
<b>基礎工事</b>	<b>P.27</b>
基礎の固定	P.27
<b>屋根部の施工</b>	<b>P.28</b>
屋根ふき材の取り付け	P.28
屋根ふき材押えの取り付け	P.29
屋根ふき材の取り付けと屋根ふき材押えの取り付けの繰り返し	P.29
キャップの取り付け	P.30
<b>雨樋の施工</b>	<b>P.31</b>
雨樋の取り付け	P.31
<b>寸法図</b>	<b>P.32</b>
寸法図	P.32

# 安全にお取り扱いいただくために

## ⚠ 注意

- 組み立ては、所定のねじを使用し、最後まで締め付けてください。  
締め付け不良は、漏水や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形しないよう、取り扱いには十分注意してください。  
破損、変形した商品を取り付けた場合、漏水や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本商品は、積雪～20cm地域用 {積雪荷重600N/m<sup>2</sup> (61.2kgf/m<sup>2</sup>)} です。
- 本説明書に記載以外の組み立て、加工など、改造を行わないでください。  
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本商品は後枠側を建物に向けて施工してください。  
屋根が強風であられ商品が破損し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 切り詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。  
奥行方向張り出し部のみ切り詰めると、屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪や暴風時に商品が破損し思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 給湯器や暖房機などの熱排気が商品内にこもるような場所に施工しないでください。  
排気による中毒や塗装劣化・ハクリのおそれがあります。
- 塀など隣接して設置する場合は、間隔を十分あけてください。  
風のおおりにより商品が接触し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けしないでください。  
商品が破損し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。  
ポリカーボネート板へのシーリングは、必ず脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。  
(別途手配品)  
ポリカーボネート板の接着不良やひび割れ、漏水につながるおそれがあります。
- ねじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。  
皮膚に直接接触ることにより、かぶれが起こるおそれがあります。  
口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。

## お願い

- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。  
外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 屋根の上に乗らないでください。  
局部荷重により破損や漏水の原因になります。
- 屋根の間口方向に水勾配をつけてください。(1000mmに対し2～4mm)逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因になります。

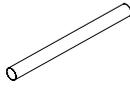
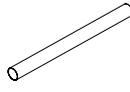


- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全带、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 作業は各作業工程を考慮して進めてください。  
また、国家資格、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
- 作業者が相互に安全、健康状態について確認を行ってください。
- 事故が発生した場合は作業を中断し、安全を確保のうえで、ただちに手当てを行ってください。
- 柱や梁の施工に関しては、必ず小型移動式クレーンやチェンブロックなど適切な揚重機械を用いて施工してください。
- 商品表面にキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。  
キズがつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤(1～2%水溶液)を使用してください。  
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。

# 作業前の確認

## 同梱一覧

### ■柱ユニット

姿 図			
品 名	たて樋	たて樋	呼び樋
品 番	<b>2K-38903</b>	<b>2K-38903</b>	<b>2K-38903</b>
JCD-(DS)-TA24B-T	2	—	2
JCD-(DS)-TA28BD-1T	—	1	1
備 考	L=2500	L=3000	L=1300

### ■梁ユニット

姿 図				
品 名 (単位：mm)	梁連結カバー	座金組込六角ボルト (M10×30)	トラスタッピンねじ (φ5×16)	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	<b>6K-17945</b>	<b>5K-19921</b>	<b>ET-5016</b>	<b>ET-5010</b>
JCD-(DS)-TB22##	1	6	26	2
備 考	—	梁連結用	梁連結材 取り付け用	梁連結カバー 取り付け用

### ■屋根ふき材ユニット

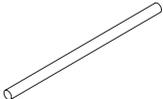
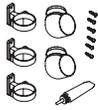
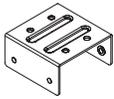
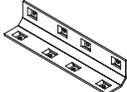
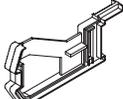
ユニット記号	サイズ		数量
	長さ	幅	
DCD-(DS)-WF5106-2※#	4999	585	2
DCD-(DS)-WF5706-2※#	5717		
DCD-(DS)-WF5107-2※#	4999	660	2
DCD-(DS)-WF5707-2※#	5717		
DCD-(DS)-TF5107-1※#	4999	660	1
DCD-(DS)-TF5707-1※#	5717		

※#は屋根ふき材の種類を表します。

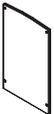
屋根ふき材の種類により、屋根ふき材の末尾の記号が異なります。

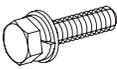
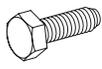
屋根材種類	色	記号
一般ポリカ	ブルースモーク	2A
	ブラウンスモーク	2C
	クリアマット2	2F
熱線遮断ポリカ	熱線ブルースモークマット	3B
	熱線クリアマット2	3J

## ■部品ユニット

姿 図						
品 名	柱アンカー	雨樋セット	柱・梁連結金具	連結材A	連結材B	前枠連結材キャップ
品 番	<b>K-11711</b>	<b>EA-F1</b>	<b>5K-11169</b>	<b>6K-17946</b>	<b>6K-17947</b>	<b>3K31359-A</b>
JCD-(DS)-TG5171-##	4	2	4	2	2	1
JCD-(DS)-TG5179-##	4	2	4	2	2	1
JCD-(DS)-TG5771-##	4	2	4	2	2	1
JCD-(DS)-TG5779-##	4	2	4	2	2	1

姿 図						
品 名	後枠連結材キャップ	前枠キャップベース(L)	前枠キャップベース(R)	後枠キャップベース(L)	後枠キャップベース(R)	前枠キャップ(L)
品 番	<b>3K31360-A</b>	<b>3K31351-A</b>	<b>3K31352-A</b>	<b>3K31353-A</b>	<b>3K31354-A</b>	<b>3K-31355</b>
JCD-(DS)-TG5171-##	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)-TG5179-##	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)-TG5771-##	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)-TG5779-##	1	1	1	1	1	1
備 考	-	-	-	-	-	-

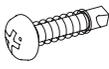
姿 図						
品 名	前枠キャップ(R)	後枠キャップ(L)	後枠キャップ(R)	ドレイン	ゴミ出しエルボ	梁キャップ
品 番	<b>3K-31356</b>	<b>3K-31722</b>	<b>3K-31723</b>	<b>K-36979</b>	<b>2K-38866</b>	<b>3K-31438</b>
JCD-(DS)-TG5171-##	1	1	1	2	2	4
JCD-(DS)-TG5179-##	1	1	1	2	2	4
JCD-(DS)-TG5771-##	1	1	1	2	2	4
JCD-(DS)-TG5779-##	1	1	1	2	2	4
備 考	-	-	-	-	-	-

姿 図						
品 名 (単位：mm)	雨水受け	座金組込六角ボルト(M10×30)	六角ボルト(M10×30)	スプリングワッシャー(M10用)	ワッシャー(M10用)	六角ナット(M10用)
品 番	<b>3K-21037</b>	<b>5K-19921</b>	<b>SBH-M10030</b>	<b>SW-10</b>	<b>W-10</b>	<b>N-M10</b>
JCD-(DS)-TG5171-##	4	16	16	16	16	16
JCD-(DS)-TG5179-##	4	16	16	16	16	16
JCD-(DS)-TG5771-##	4	16	16	16	16	16
JCD-(DS)-TG5779-##	4	16	16	16	16	16
備 考	-	柱連結用	柱・梁連結金具 取り付け用	柱・梁連結金具 取り付け用	柱・梁連結金具 取り付け用	柱・梁連結金具 取り付け用

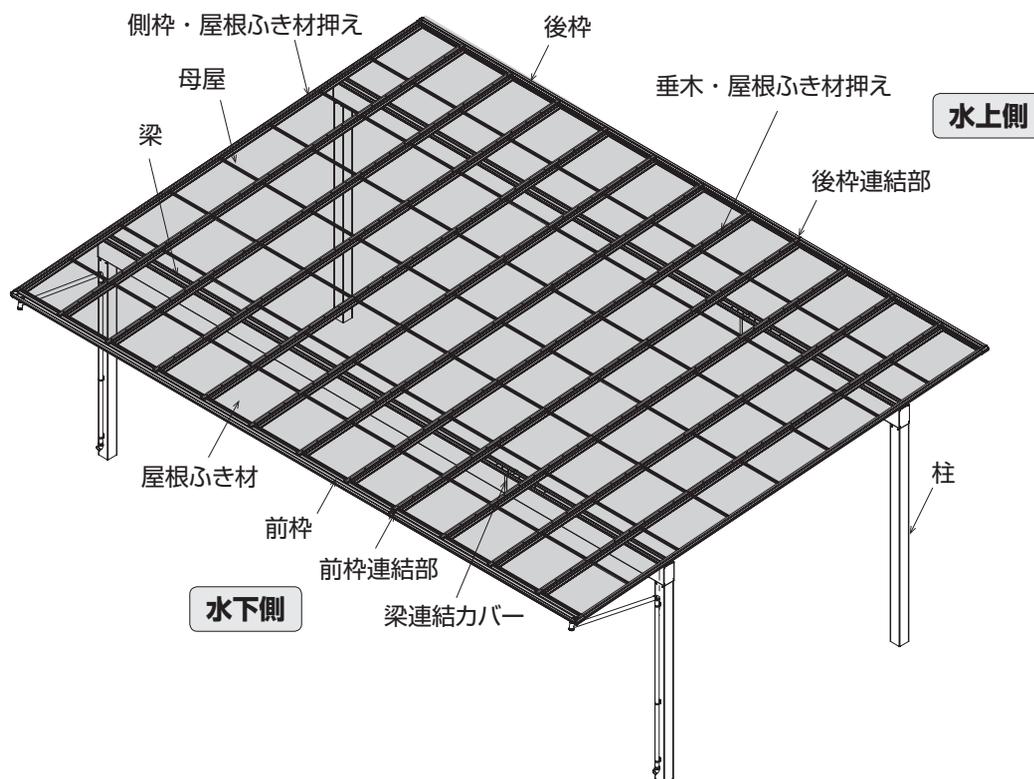
■部品ユニット(つづき)

姿 図					
品 名 (単位 : mm)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>
JCD-(DS)-TG5171-##	48	44	304	132	2
JCD-(DS)-TG5179-##	52	48	329	144	2
JCD-(DS)-TG5771-##	48	44	344	154	2
JCD-(DS)-TG5779-##	52	48	372	168	2
備 考	側枠・垂木 取り付け用	前枠・後枠 取り付け用	屋根ふき材押え 取り付け用	母屋取り付け用	予備

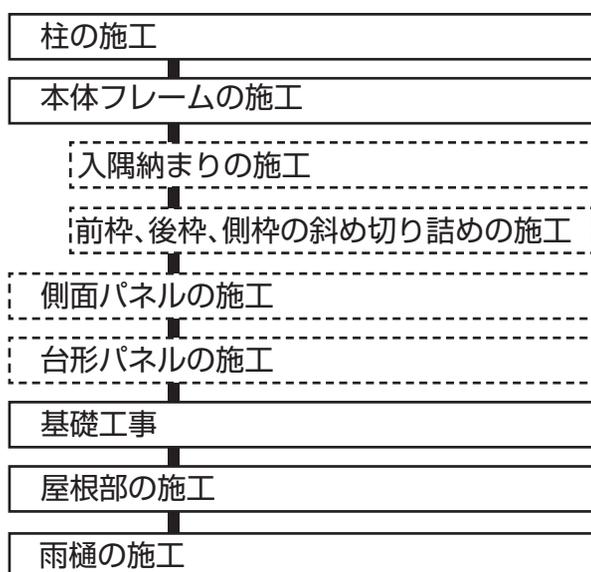
姿 図		 パッキン付	 パッキン付	 パッキン付	 パッキン付
品 名 (単位 : mm)	穴塞ぎシール	防水ねじ (φ5×10)	防水ねじ (φ5×10)	防水ねじ (φ5×10)	防水ねじ (φ5×10)
品 番	<b>K-40433</b>	<b>5K-14711</b>	<b>5K-14711</b>	<b>5K-14711</b>	<b>5K-14711</b>
JCD-(DS)-TG5171-##	48	8	4	16	8
JCD-(DS)-TG5179-##	52	8	4	16	8
JCD-(DS)-TG5771-##	48	8	4	16	8
JCD-(DS)-TG5779-##	52	8	4	16	8
備 考	—	前枠・後枠キャップ 取り付け用	ドレイン 取り付け用	前枠・後枠連結部 取り付け用	前枠・後枠連結用

姿 図	 パッキン付			—
品 名 (単位 : mm)	防水ねじ (φ5×10)	ドリルねじ (φ4×19)	落下防止ピン	組立・施工説明書
品 番	<b>5K-14711</b>	<b>DN-4019</b>	<b>3K-31079</b>	—
JCD-(DS)-TG5171-##	2	16	8	1
JCD-(DS)-TG5179-##	2	16	8	1
JCD-(DS)-TG5771-##	2	16	8	1
JCD-(DS)-TG5779-##	2	16	8	1
備 考	予備	梁キャップ 取り付け用	—	—

## 全体構成図



## 施工の流れ



□□□□は、各同梱の説明書を参照してください。

# 基礎工事の準備

## ⚠ 注意

- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。  
地盤のゆるいところでは、さらに基礎を大きくしてください。  
地盤の支持力が得られず、商品が沈下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 基礎の根入れ深さは凍結深度より深くしてください。  
地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。  
商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。水が留まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。

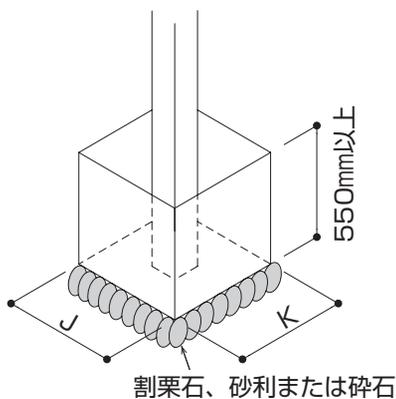
## 柱の墨出し

1. 寸法図(P.32)を参考に、柱の墨出しを行ってください。

## 基礎の掘削

### 独立基礎の場合

1. 寸法図(P.32)を参考に、柱の基礎穴をあけてください。
2. 基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。



カーポートサイズ	J	K
5072、5080	820	
5772、5780	880	

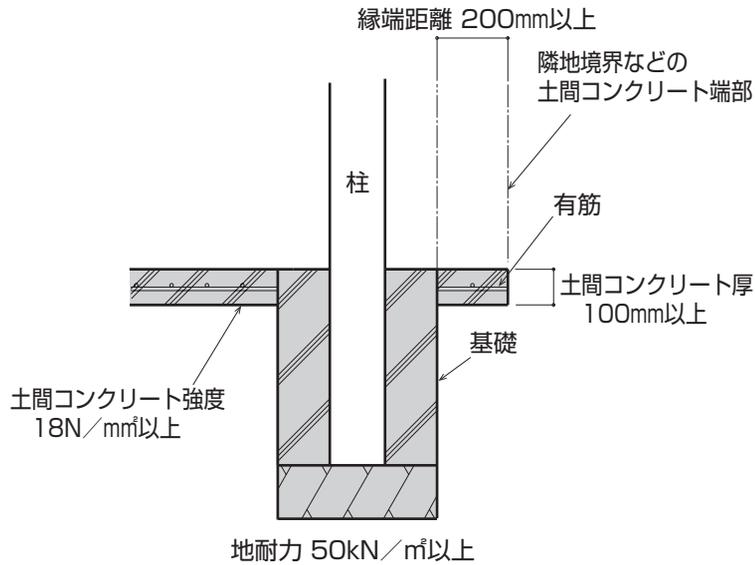
(単位：mm)

## 土間コンクリート考慮基礎の場合

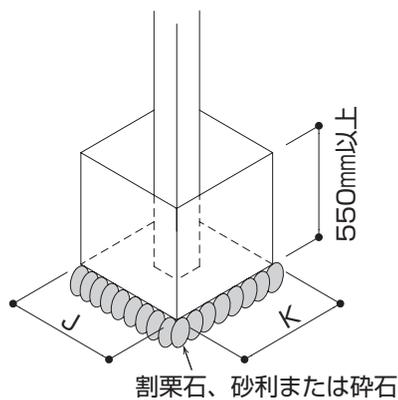


- 基礎条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

1. 土間コンクリートの各条件を確認してください。



2. 寸法図(P.33)を参考に、柱の基礎穴をあけてください。



カーポートサイズ	J	K
全サイズ	630	

3. 基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き均し、突き固めてください。

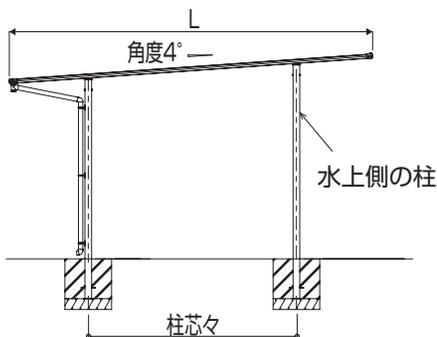
# 柱の施工

## 柱の切断

1. 水上側の柱（長い柱）は、表を参考に切断してください。



- 切断しない場合は、柱を深く埋め込んでください。
- 柱を移動する場合は、計算で水上側の柱長さを決めてください。  
柱芯々  $\times \tan 4^\circ + 2920$      $\tan 4^\circ = 0.07$



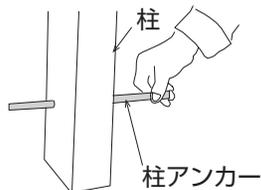
### ■柱切断寸法(柱標準位置の場合)

呼称	L50		L57	
	H24	H28	H24	H28
幅共通	14※	80	14※	52

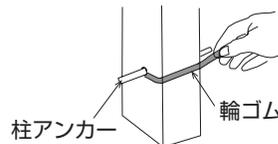
※柱を外々に最大100mm移動した場合は、水上側の柱は切断不要です。

## 柱の建込み・仮固定

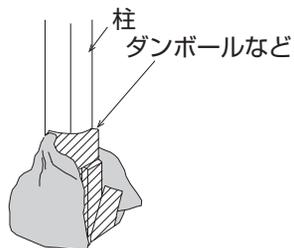
1. 柱アンカーを柱に取り付けてください。



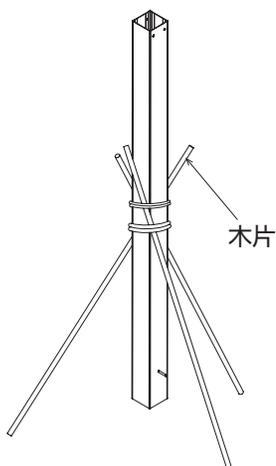
- 柱アンカーの脱落防止  
例：輪ゴムを柱アンカーに引っかける



2. キズ防止のため、柱をダンボールなどで養生してください。



3. 土のう袋、木片などを利用して柱を仮固定してください。



(単位：mm)

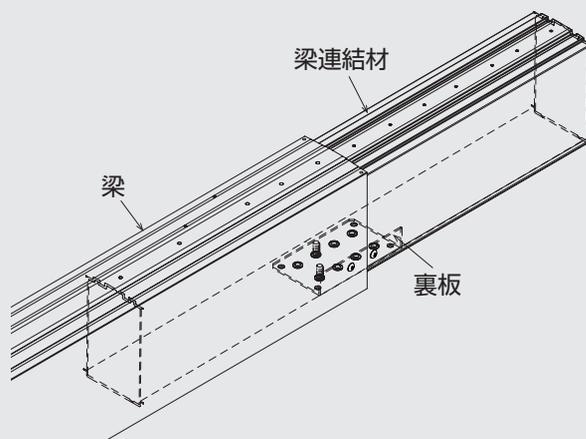
# 本体フレームの施工

## 梁の連結

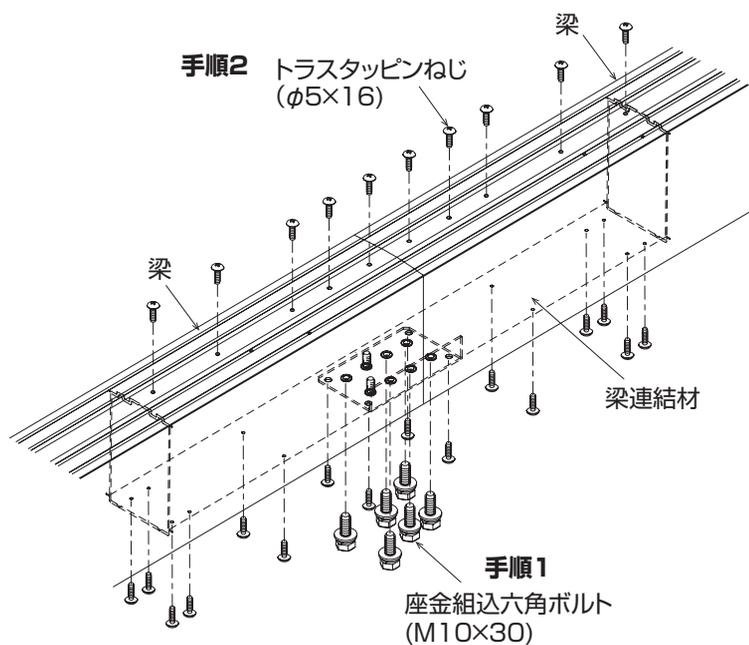


- 裏板は梁連結材にねじで取り付け済み、梁連結材は片方の梁にボルト2本で取り付けられて出荷されます。

### 《出荷状態》



1. 梁を梁連結材に通し、ボルトで仮締めしてください。
2. 梁と梁連結材をねじで固定してください。



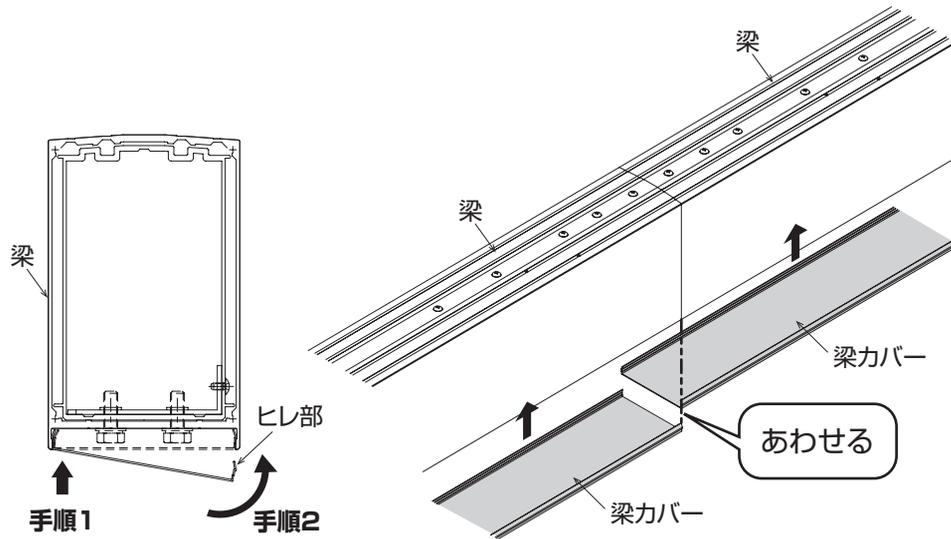
3. すべてのボルトを本締めしてください。

## 梁カバーの取り付け

### お願い

- 連結部に梁カバーの切断面をあわせてください。
- 梁カバー変形防止のため、連結部のボルト頭付近をたたかないでください。

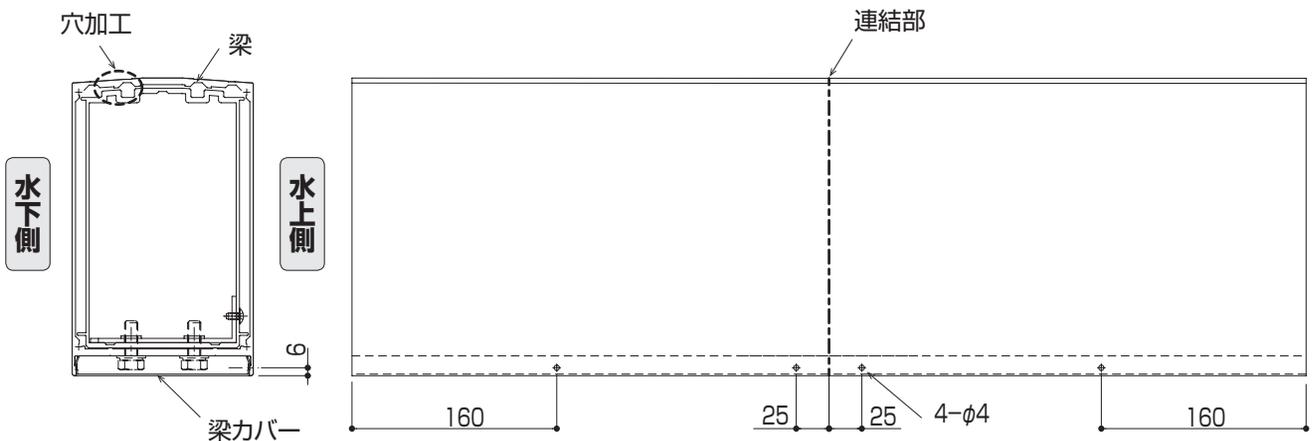
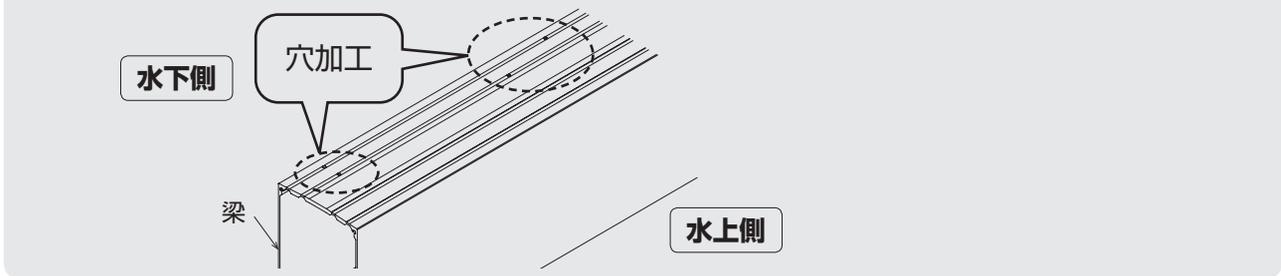
1. 梁カバーの片面を梁に差し込んでください。
2. 梁カバーを回転させながら、ヒレ部分を梁に押し込んでください。



3. 梁および梁カバーの水上側に穴加工(φ4)をしてください。

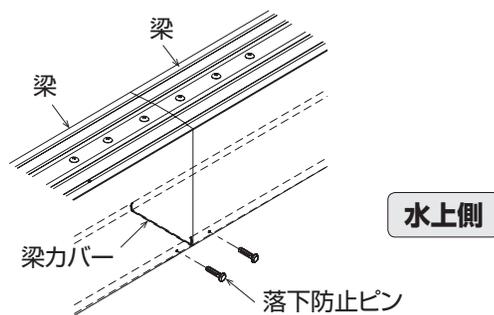


- 穴加工のある方が水下側になることを確認してください。

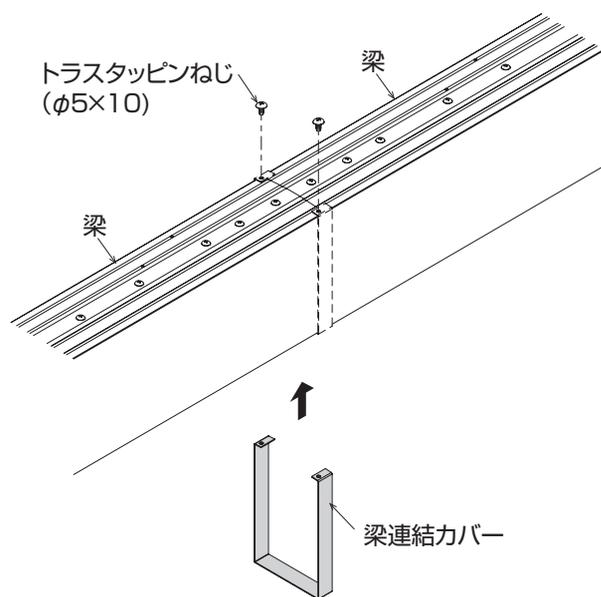


(単位：mm)

4. 梁と梁カバーを落下防止ピンで固定してください。



5. 梁連結カバーを梁に取り付けてください。



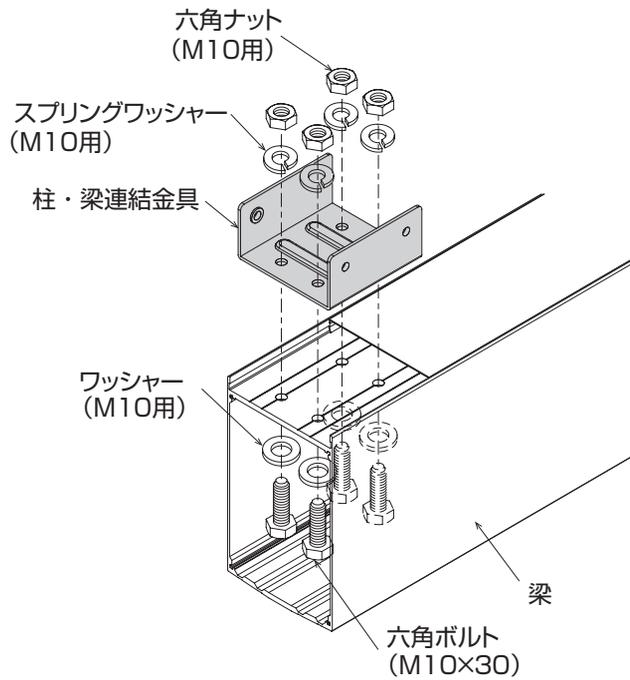
# 梁の取り付け



• 垂木、側枠取り付け用の穴加工がある方が水下側になることを確認してください。

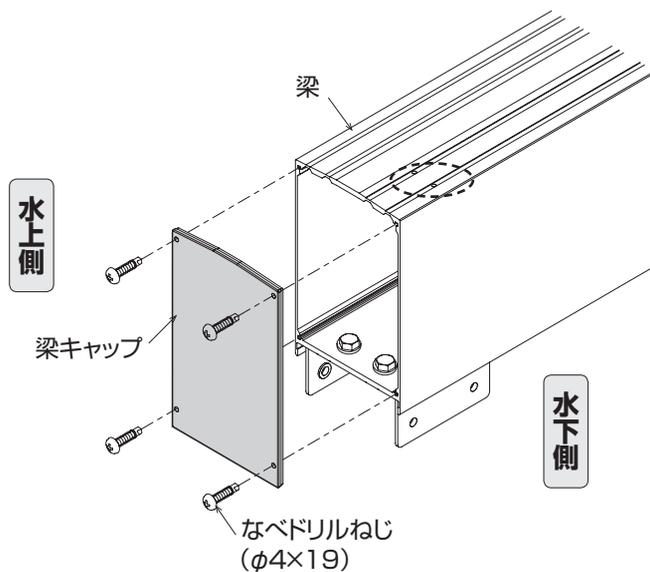


1. 柱・梁連結金具を穴位置にあわせて、梁にボルトで固定してください。



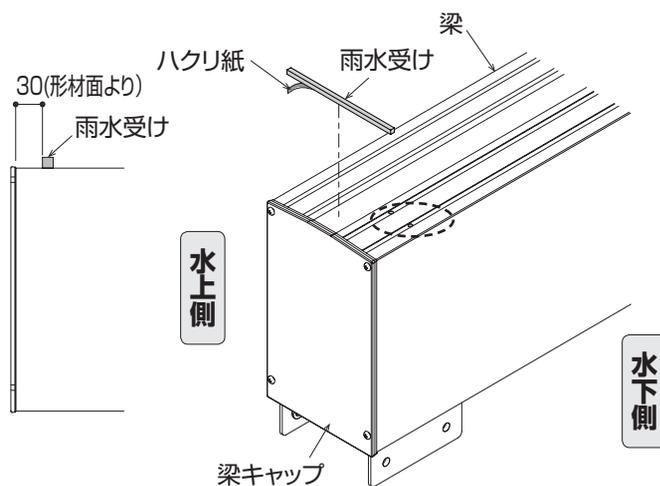
2. 上下を反転してください。

3. 梁キャップを梁に取り付けてください。

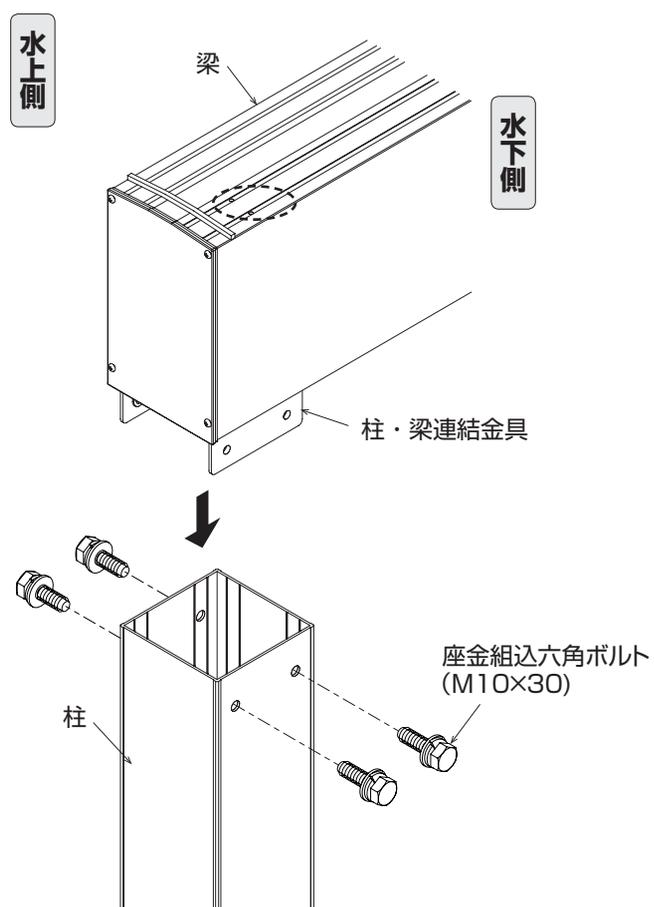


(単位：mm)

4. 雨水受けのハクリ紙をはがして、梁の傾斜にあわせて取り付けてください。



5. 柱・梁連結金具を柱に通し、ボルトで仮締めしてください。

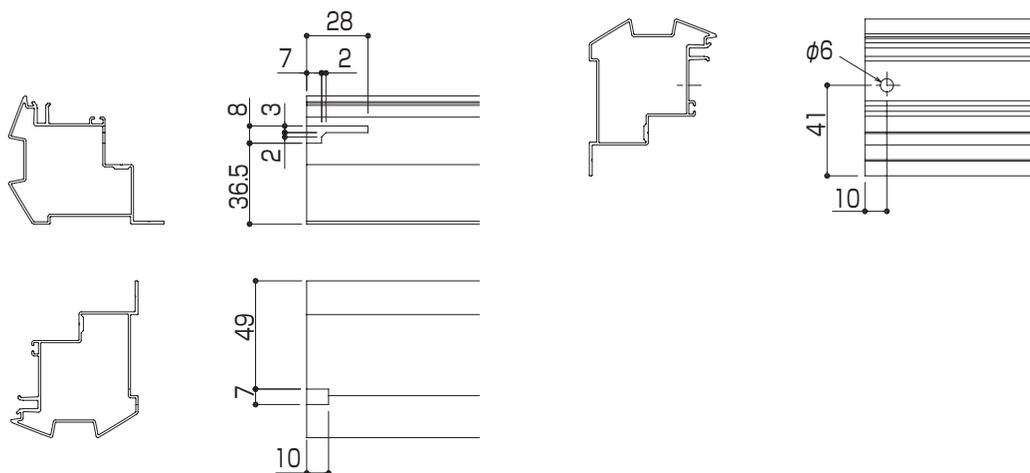


## 側枠の取り付け

### 側枠の切断、加工

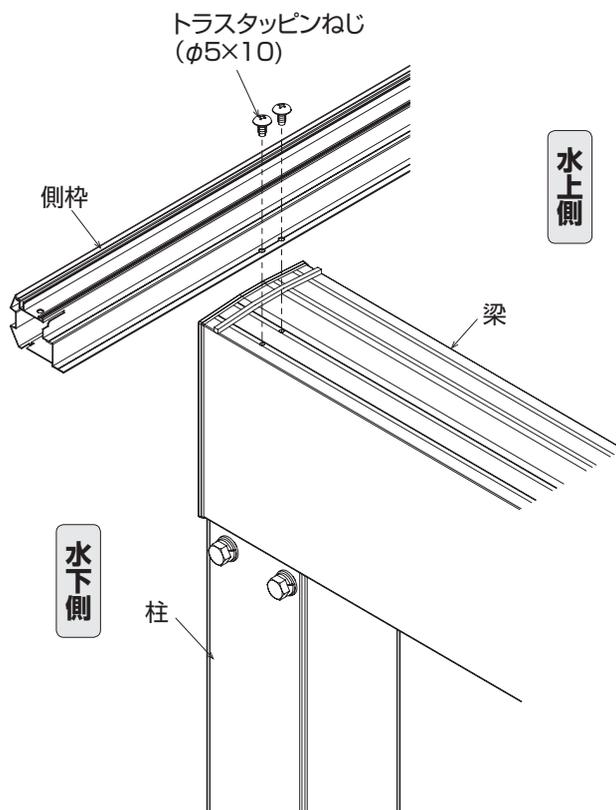
#### 奥行き方向を切り詰めする場合

1. 任意の長さで切断してください。
2. 側枠に切り欠き、穴加工をしてください。



### 側枠の取り付け

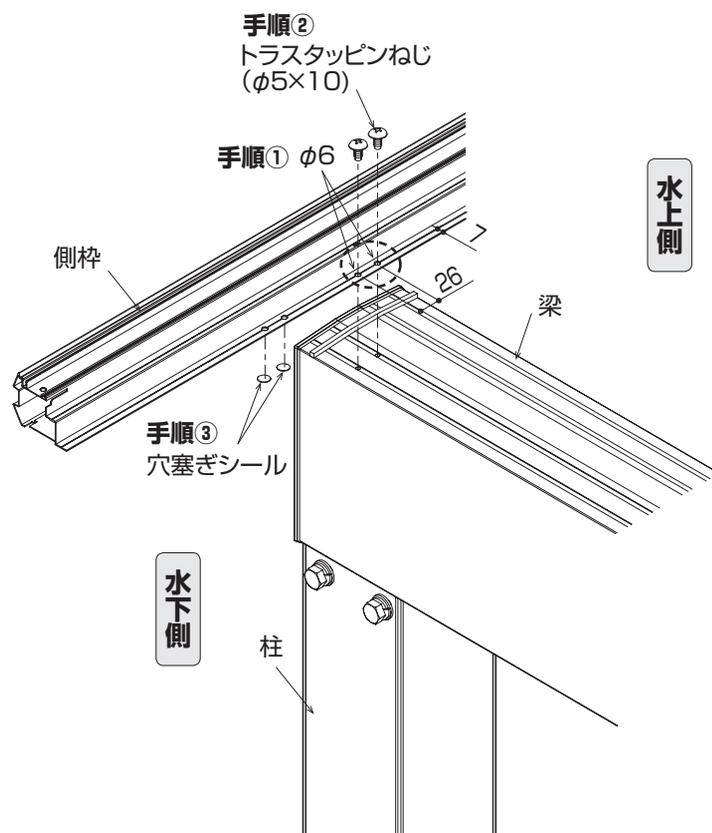
1. 側枠を梁に取り付けてください。



(単位：mm)

**柱を移動する場合**

- ① 梁の穴位置にあわせて、側枠に穴加工(2-φ6)をしてください。
- ② 側枠を梁に取り付けてください。
- ③ 側枠の既存穴に、同梱されている穴塞ぎシールを貼ってください。

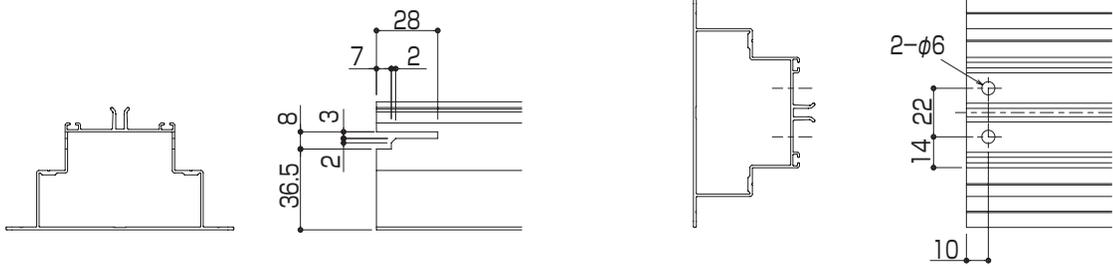


## 垂木の取り付け

### 垂木の切断、加工

#### 奥行き方向長さを切り詰めする場合

1. 任意の長さで切断してください。
2. 垂木に切り欠き、穴加工をしてください。

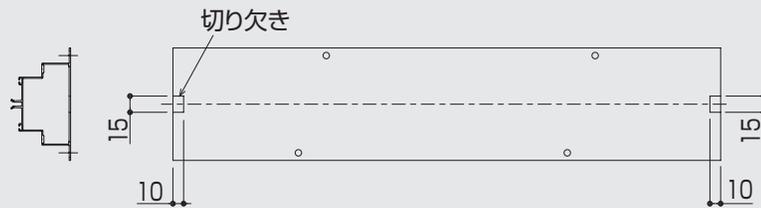


### 垂木の取り付け

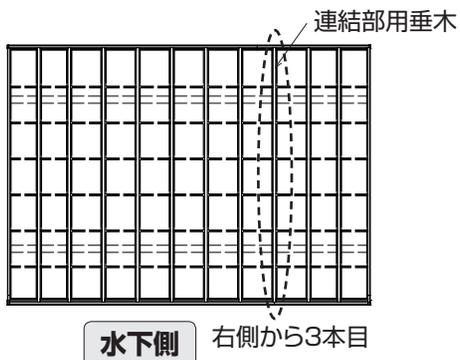
1. 垂木を梁に取り付けてください。



- ・ 前枠および後枠の連結部は、連結部用の垂木を使用してください。

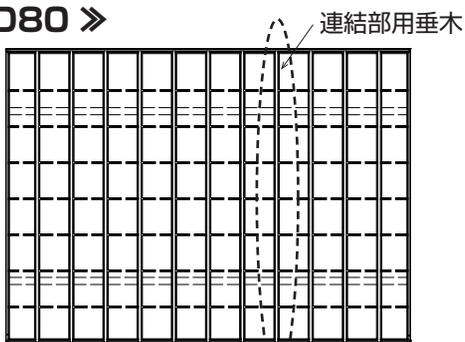


#### 《 D72 》

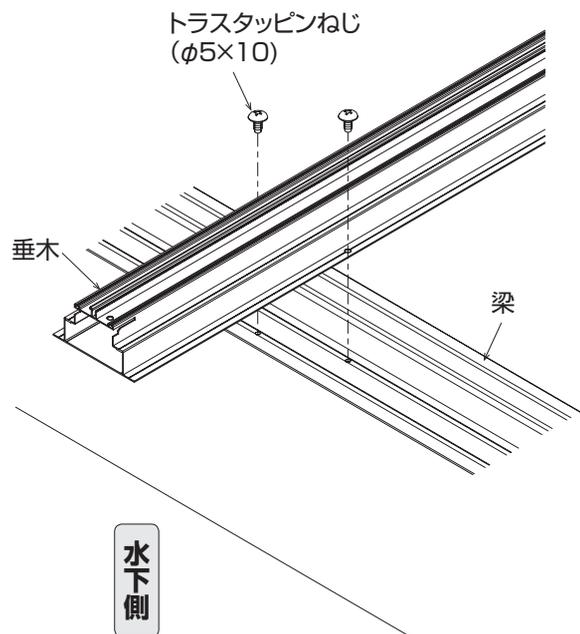


右側から3本目

#### 《 D80 》



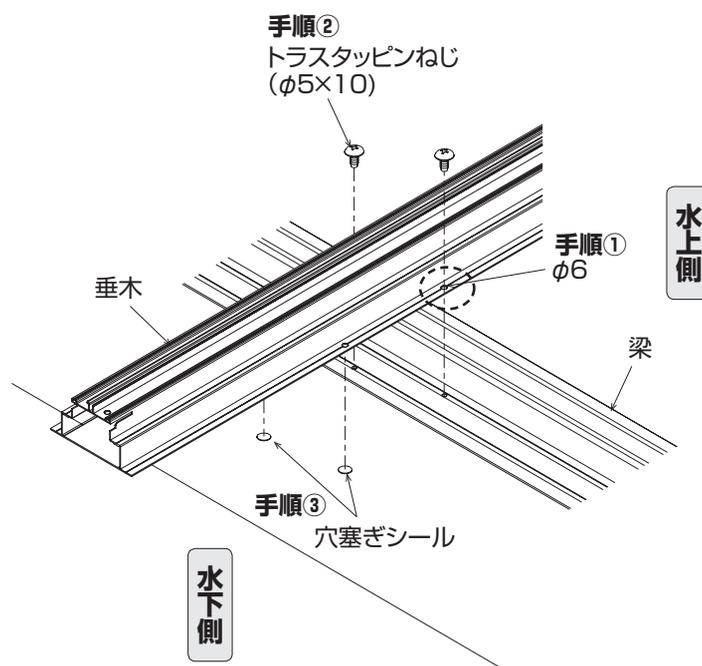
右側から4本目



(単位：mm)

**柱を移動する場合**

- ① 梁の穴位置にあわせて、垂木に穴加工(2-φ6)をしてください。
- ② 垂木を梁に取り付けてください。
- ③ 垂木の既存穴に、同梱されている穴塞ぎシールを貼ってください。

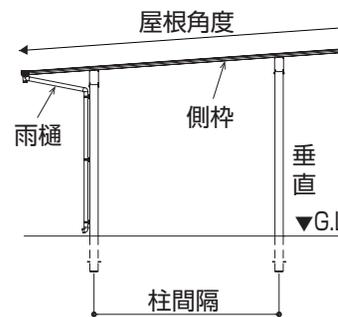
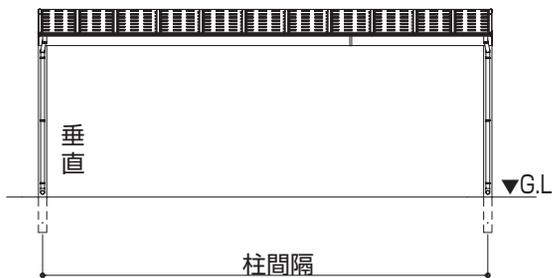
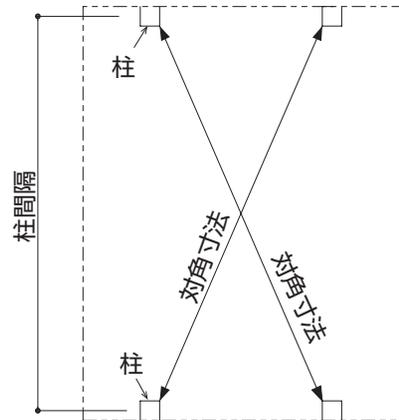


## 寸法確認・調整

1. 柱の間隔・垂直・対角の寸法を確認してください。

### ■ 柱の対角寸法

呼称	L50	L57
D72	7387	7546
D80	8153	8297



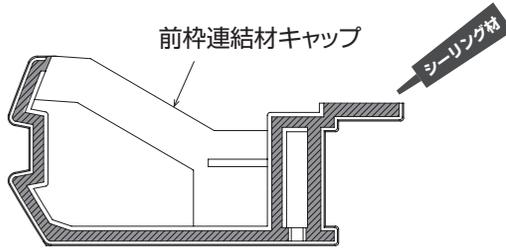
2. 寸法・角度があわない場合は、部材を動かして調整してください。

(単位：mm)

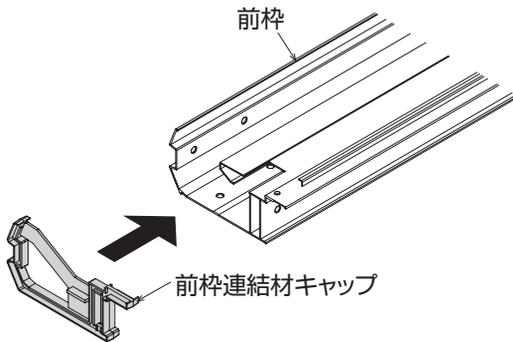


## 前枠の連結

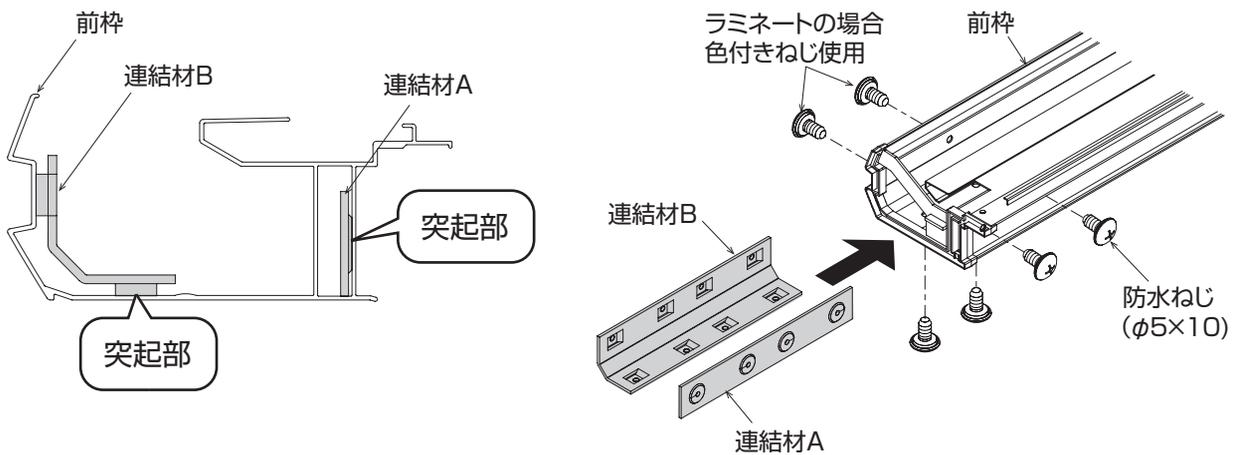
1. 前枠連結材キャップ両面にシーリングしてください。



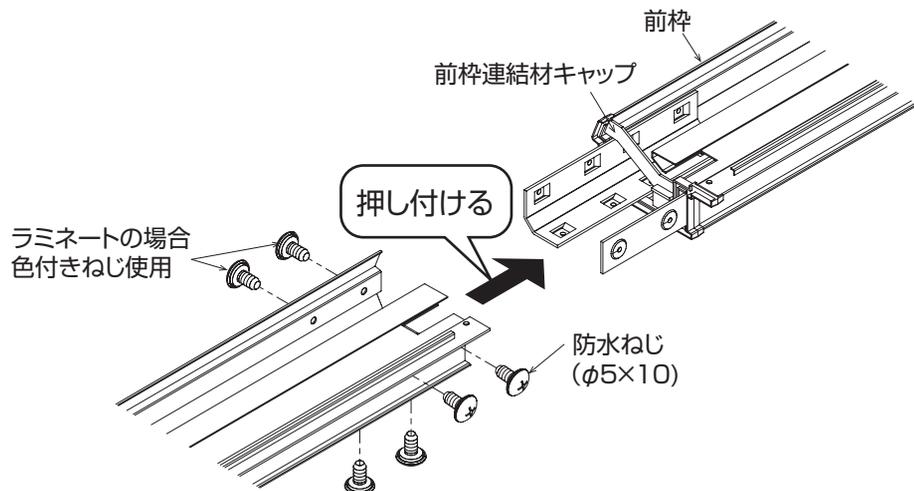
2. 前枠連結材キャップを前枠に取り付けてください。



3. 片方の前枠の連結する側に連結材A・Bの突起部の向きを確認し、仮留めしてください。



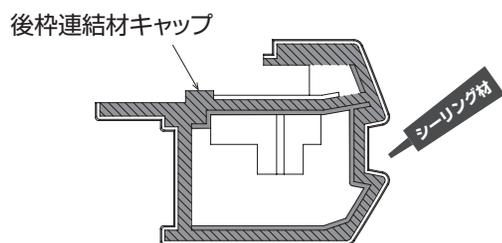
4. もう一方の前枠をしっかりと前枠連結材キャップに押し付けて、ねじで本締めしてください。



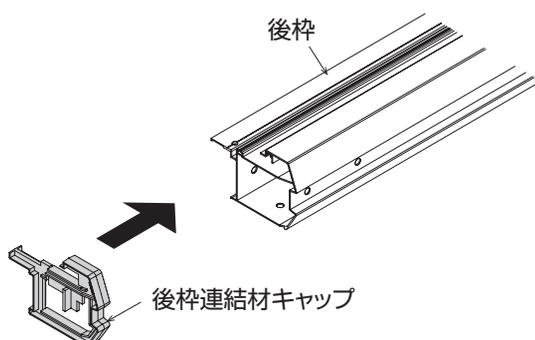
(単位：mm)

## 後枠の連結

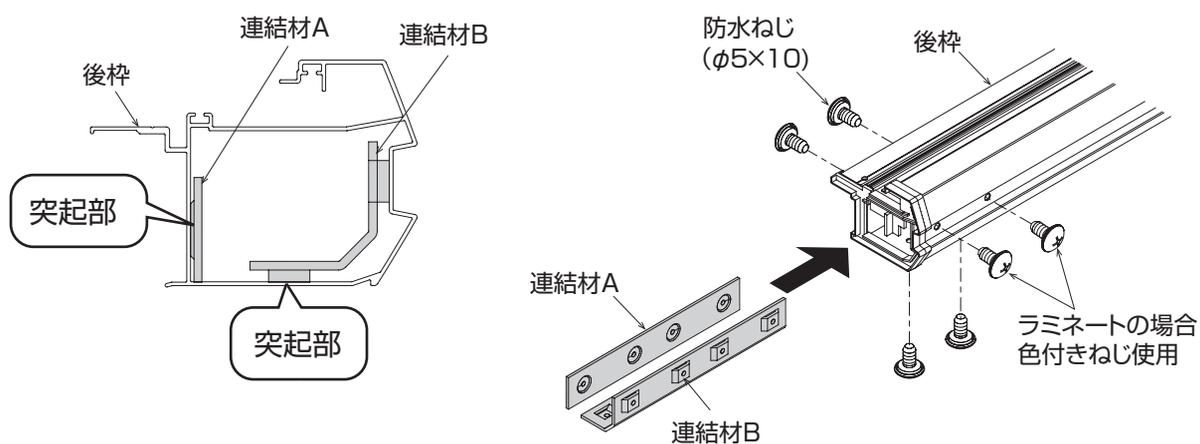
1. 後枠連結材キャップ両面にシーリングしてください。



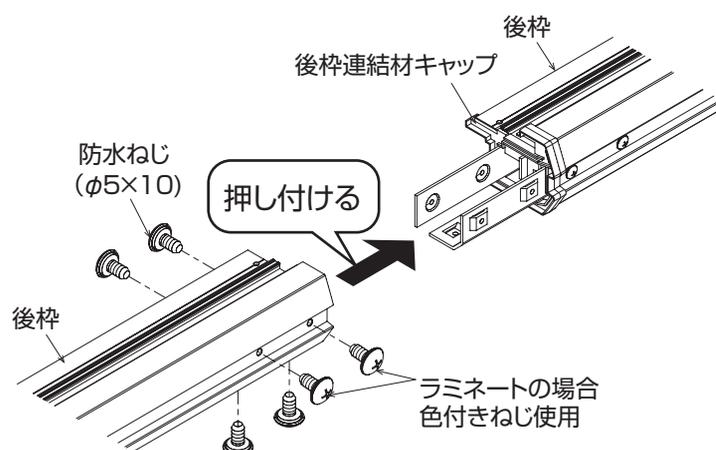
2. 後枠連結材キャップを後枠に取り付けてください。



3. 片方の後枠の連結する側に連結材A・Bの突起部の向きを確認し、仮留めしてください。



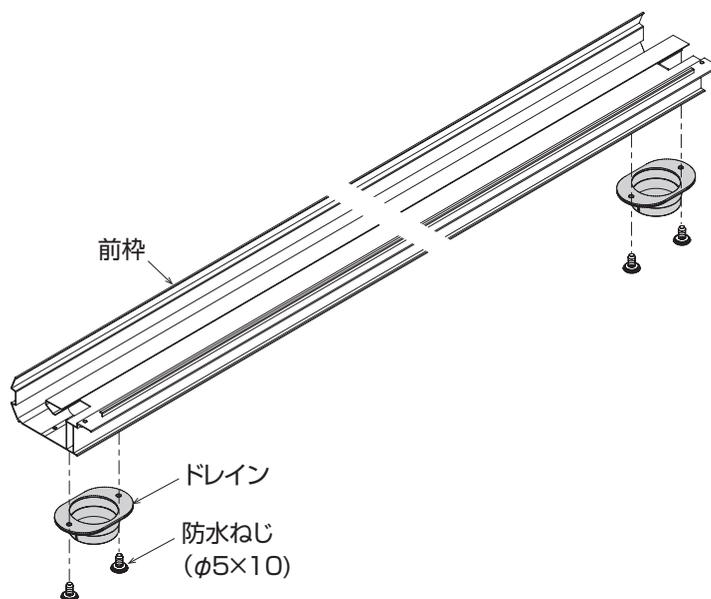
4. もう一方の後枠をしっかりと後枠連結材キャップに押し付けて、ねじで本締めしてください。



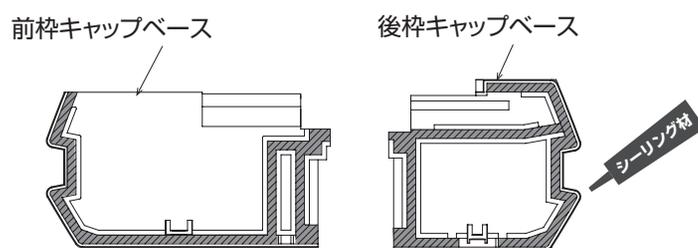
(単位：mm)

## 前枠・後枠の取り付け

1. ドレインを前枠に防水ねじで取り付けてください。



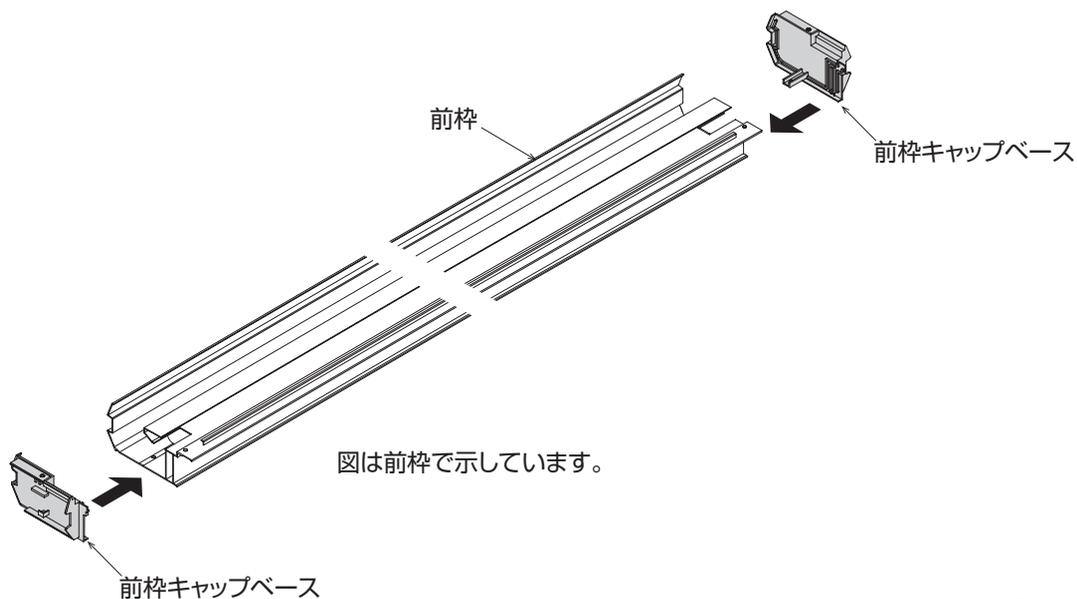
2. 前枠キャップベース、後枠キャップベースにシーリングしてください。



3. 前枠キャップベース、後枠キャップベースを後枠に取り付けてください。

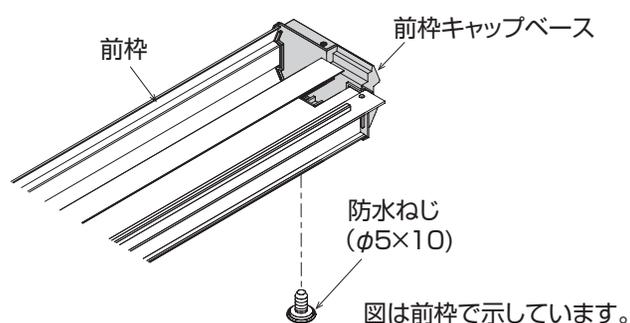


- 前枠キャップベース・後枠キャップベースは、前枠、後枠を側枠、垂木に取り付けた後に取り付けできません。



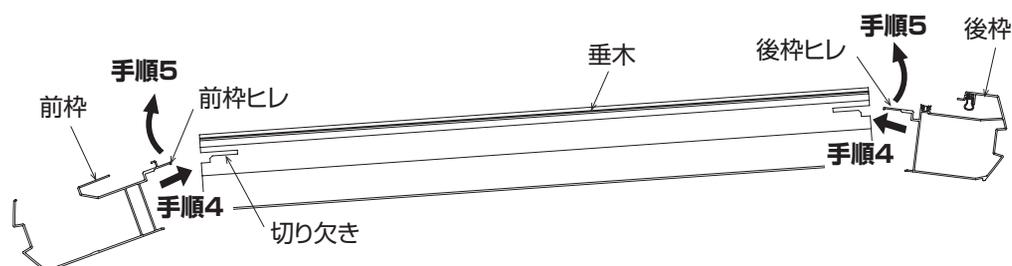
(単位：mm)

4. キャップベースを前枠、後枠にねじで取り付けてください。

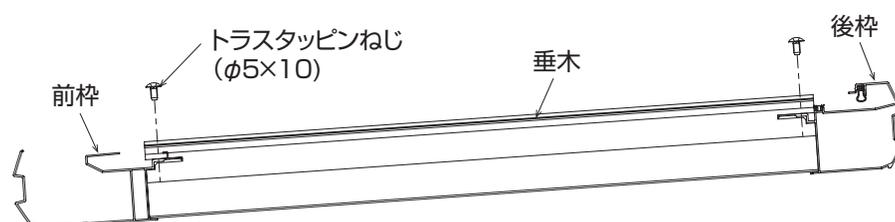


5. 前枠・後枠のヒレを側枠・垂木の切り欠きに差し込んでください。

6. 前枠・後枠を持ち上げるようにして、側枠・垂木に押し込んでください。



7. 前枠・後枠と側枠・垂木をねじで固定してください。

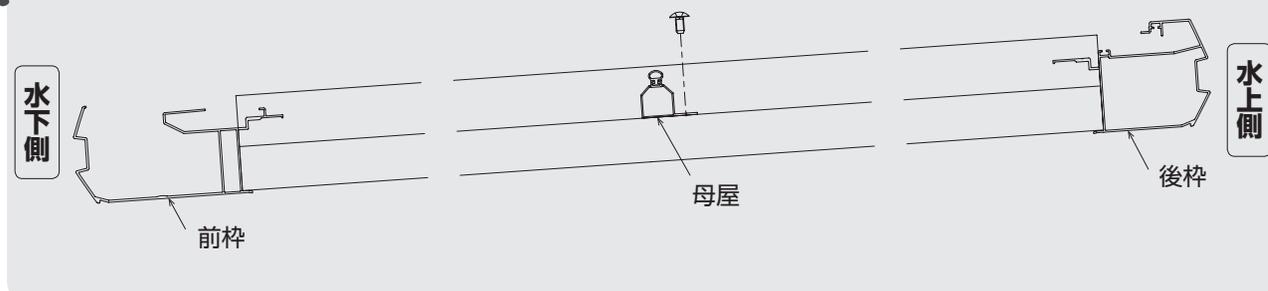


(単位：mm)

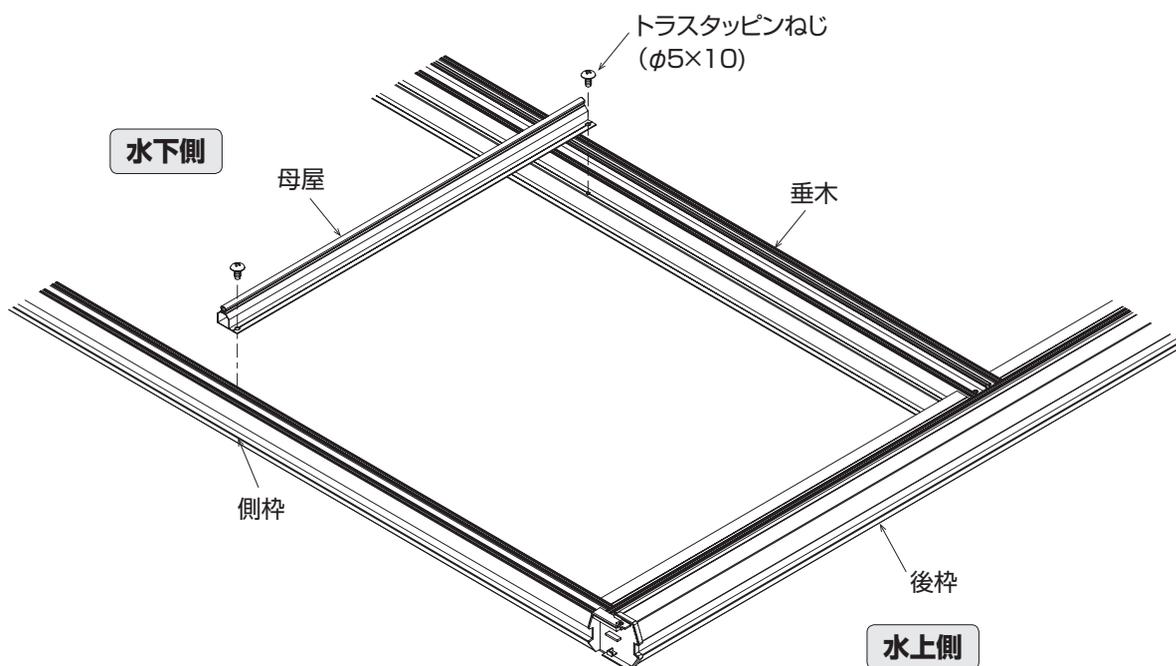
## 母屋の取り付け



• 母屋のヒレを後枠側に向けてください。



1. 母屋を側枠、垂木に取り付けてください。



(単位：mm)

# 基礎工事

## 基礎の固定

### ⚠ 注意

- 基礎コンクリートには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。
- コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。(目安：4日～7日)
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

### お願い

- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。

## 柱の寸法確認

1. 「寸法確認・調整」P.20 を参照し、再度寸法を確認してください。

## 基礎コンクリートの打ち込み

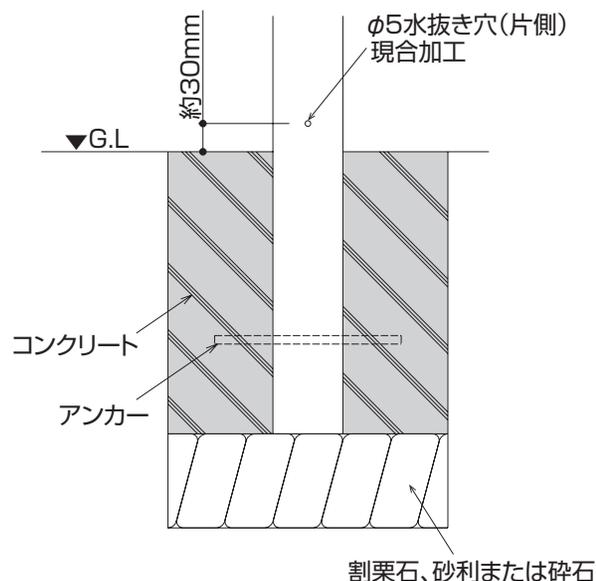
1. 柱に水抜き穴をあけてください。(穴位置は図を参照)
2. 基礎穴に基礎コンクリートを打ち込んでください。

### ⚠ 注意

- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

### お願い

- コンクリートは十分に締め固めてください。ジャンカや空隙が発生し、コンクリートの品質が低下します。

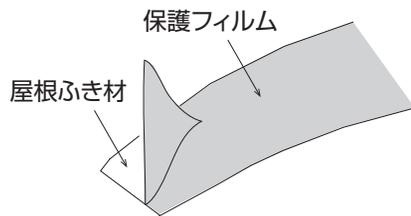


(単位：mm)

# 屋根部の施工

## 屋根ふき材の取り付け

1. 屋根ふき材の保護フィルムをはがしてください。

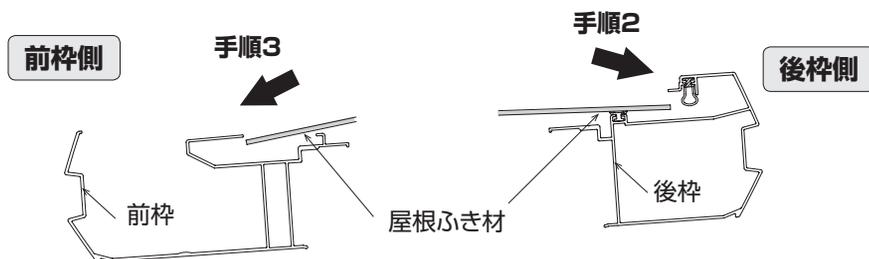


2. 屋根ふき材を後枠側に挿入してください。

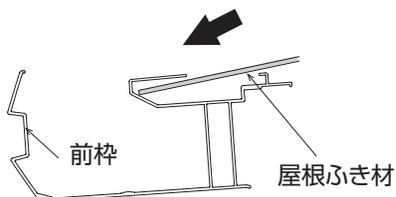
3. 屋根ふき材を前枠側に挿入してください。



• 屋根ふき材がマット調の場合、マット面(凹凸面)を屋根下面にしてください。



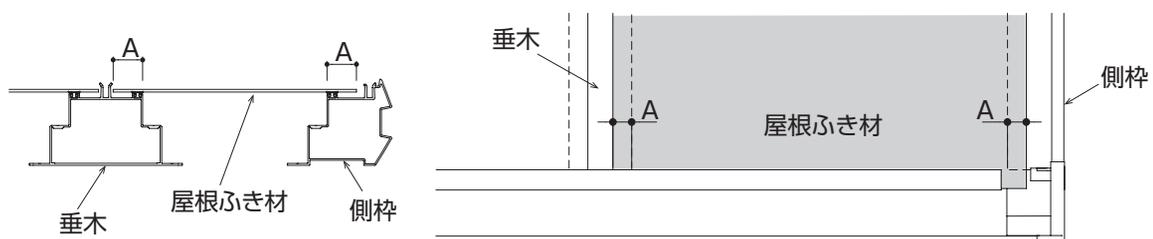
4. 屋根ふき材を前枠の溝にあたるまで押し込んでください。



5. 屋根ふき材の左右の、のみ込みを合わせてください。

### ⚠ 注意

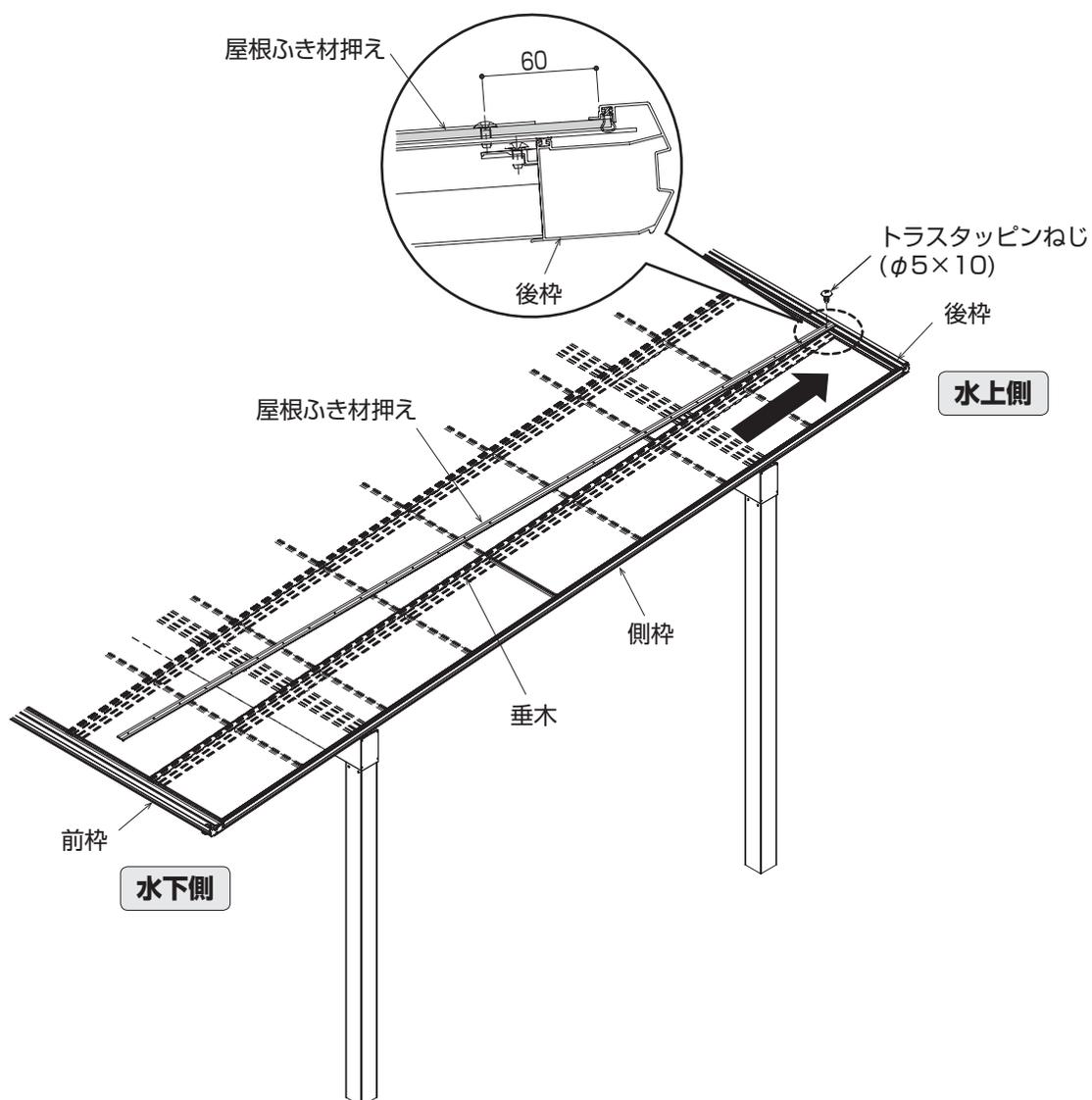
• 屋根ふき材の、のみ込み寸法Aが左右同じになるように調整してください。  
耐風圧性能低下により商品が破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



6. 次の屋根ふき材を手順1～5と同様に取り付けてください。

## 屋根ふき材押えの取り付け

1. 屋根ふき材押えを後枠に挿入し、後枠からねじ穴位置が60mmになるようにしてください。
2. 後枠側から、屋根ふき材押えを垂木に取り付けてください。



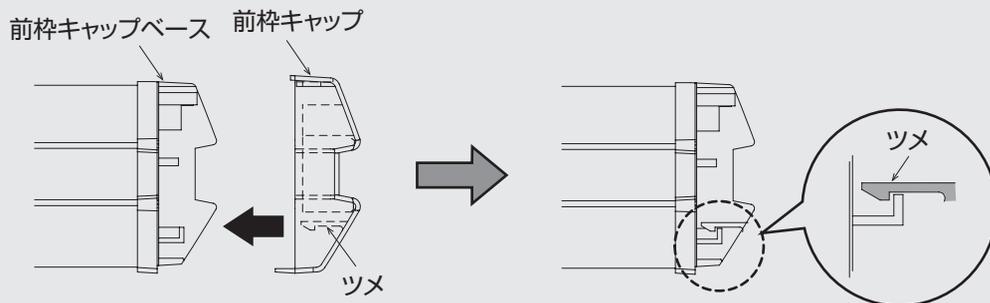
## 屋根ふき材の取り付けと屋根ふき材押えの取り付けの繰り返し

1. 屋根ふき材の取り付けと屋根ふき材押えの取り付けを繰り返してください。

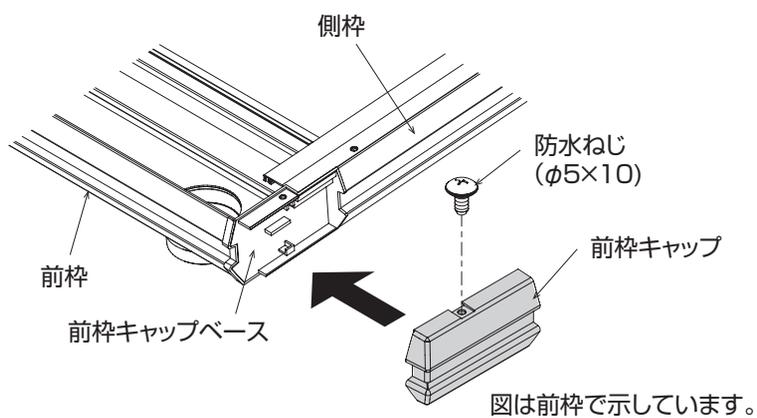
# キャップの取り付け



• キャップをキャップベースのツメに引っかけるように取り付けてください。



1. キャップをキャップベースにねじで、取り付けてください。



(単位：mm)

# 雨樋の施工

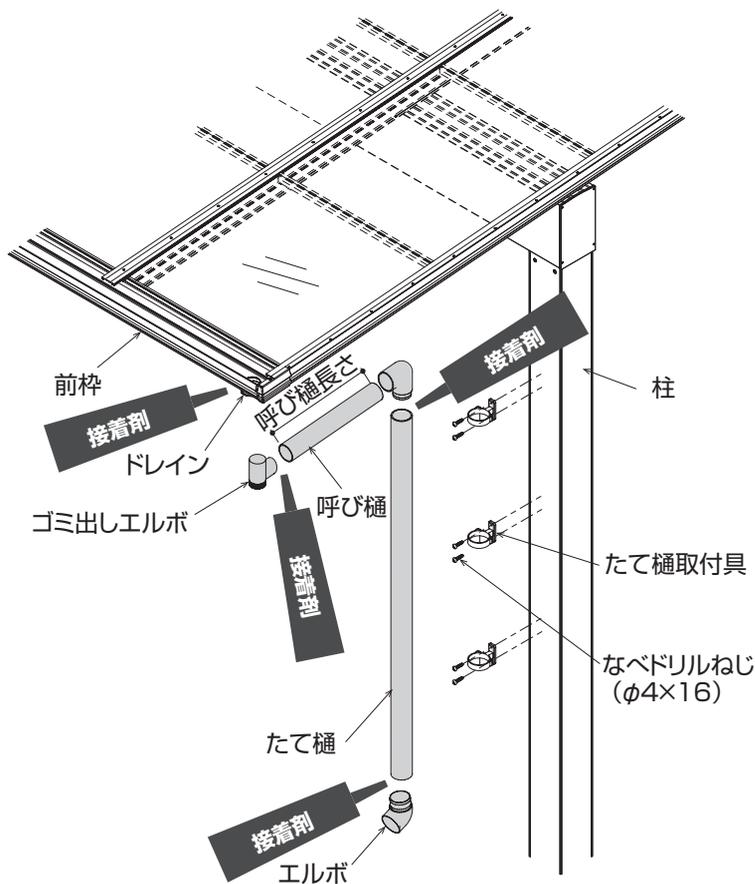
## 雨樋の取り付け



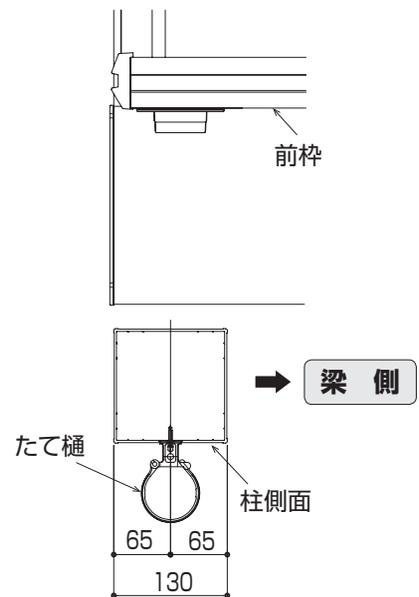
• 雨樋部品からの水漏れ防止のため、下記の要領で接着剤を塗布してください。  
必ず商品に同梱の接着剤をご使用ください。



1. たて樋取付具を柱に取り付けてください。
2. 呼び樋を取り付け長さにあわせて切断してください。（表参照）
3. ゴミ出しエルボをドレインに挿入してください。
4. 呼び樋をゴミ出しエルボに挿入してください。
5. エルボを呼び樋に挿入してください。
6. たて樋を取り付け長さにあわせて切断してください。
7. たて樋をエルボに挿入してください。
8. エルボをたて樋に挿入してください。
9. たて樋をたて樋取付具に取り付けてください。



### 【取り付け位置】



### ■呼び樋切断寸法

	切断寸法
L50	906
L57	1067

(単位：mm)



